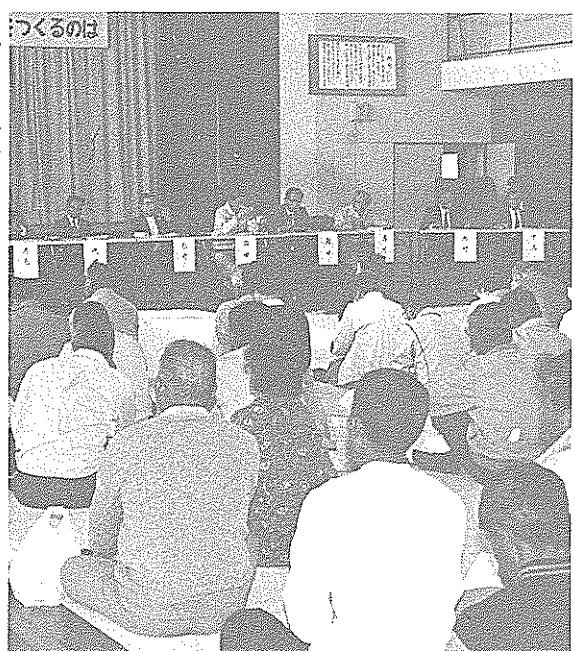


# 環境美化に向けて ○○ (11月22日)

## 環境を考えるシンポジウム

11月29日には十市地区海岸を一斉清掃



ごみ、ハエ問題解決へと、熱心に話し合つた美化シンボジウム（三和小体育館）

まずは、山海岸地域美化推進協議会の徳永安雄会長が、今までの経過と現状を報告。続いてパネリストの意見発表、討議に移りました。

これは、ごみやハエの問題を解決するために、山海岸地域美化推進協議会と三和農業協同組合、十市農業協同組合、丸十園芸組合、市農業協同組合、丸十園芸組合、市農業協同組合が主催して去年から開いているものです。

○ハウス廃材の鉄類は、選定した業者が集積場に集めて一括処理をすれば、不法投棄はなくなる。

○廃棄物の処理 清掃は市の担当だが、住民の美化意識とモラルに待つところが大きい。地域を美化するという問題意識を高める。

今後は地域住民が地域の美化について統一的な理解をし合い、実践していく。

活動に努める。自分のものは自分で処理するという気持ちになつてもらう。



11月29日には十市地区の皆さんを中心とした大勢の人たちが海岸の一斉清掃をしました

最後に、鄰どこときめ細かな事業を進めていくために、地域ぐるみの美化総合推進組織を作ることを提案し、閉会しました。

シンポジウムからちょうど一週間後の十一月二十九日、十市地区の園芸農家を中心に、一般住民、衛生委員など多数の皆さん参加して、建設省、県南国土事務所、

参加者はごみの量に驚くとともに、「もう捨てられん」と日々に話し、海岸美化の決意を新たにしていました。